

別表(第5条関係)

住居届・住居手当認定簿

年 月 日 提出

[illegible]

備 考

記入上の注意

- 1 各欄中□印又は○印のあるものについては、該当する箇所に印を付するものとする。
- 2 「届出の理由」欄中新規及び支給要件の喪失については、届出に係る住宅の種類に応じて、職員が居住する借家・借間にあつては第1項第1号、留守家族が居住する借家・借間にあつては第1項第2号のそれぞれ該当する箇所に印を付するものとする。
- 3 「家賃等」欄には、権利金、敷金、食費、電気代、ガス代、水道代、共益費若しくは店舗付住宅の店舗部分その他これに類するものに係る借料又は借り受けた住宅を他に転貸している場合の転貸部分に係る家賃等を含まない額を記入する。ただし、居住に関する支払額に光熱費(電気、ガス又は水道の料金)、食費等、共益費又は駐車場料金が含まれている場合で家賃に相当する額の算出が困難なときは、光熱費、食費等、共益費又は駐車場料金を含めた額を記入して差し支えない。なお、この場合には該当するものに印を付するものとする。
- 4 支給要件の喪失の場合の届出は、「届出の理由」欄のみ記入するものとする。
- 5 住居届の提出の際は、賃貸借契約関係等を客観的に証明し得る証明書類を添付するものとする。ただし、他の目的により既に提出され保管されている書類で事実関係が確認できる場合のように証明書類の提出がなされなくても事実関係が確認できると任命権者が認めた場合にあつては、証明書類は添付しなくてもよいものとする。なお、届出の際にやむを得ない事情があると任命権者が認めた場合には、添付すべき証明書類は、届出後速やかに提出することをもつて足りるものとする。

別表(第5条関係)

住居届・住居手当認定簿

令和6年 4月 1日 提出

(任命権者) 静岡県知事 様	所 属	〇〇事務所	職 名		職 員 番 号	00123456
					氏 名	静岡 太郎
届出の理由 ●1 新 規 (●第1項第1号 ○第1項第2号) ○2 支給要件の喪失(○第1項第1号 ○第1項第2号) ○3 転 居 (1又は2に該当する場合を除く) ○4 契約関係の変更 ○5 家賃額の改定 ○6 その他() 届出の理由が生じた日 令和6年 4月 1日						
住居手当に関する規則第5条の規定に基づき、居住の実情を届け出ます。						
契 約 期 間	令和6年 4月 1日から令和8年 3月 31日まで ■自動更新あり		入 居 年 月 日	令和6年 4月 1日		
住宅の所在地	静岡市葵区〇〇1-2-3		住宅の区分	●借家 ○借間 ○まかない付下宿		
住宅の所有者	浜松 花子 続 柄 (他人(親族以外))		所有者の住所	浜松市中区〇〇4-5-6		
住宅の貸主	浜松 花子 続 柄 (他人(親族以外))		貸主の住所	浜松市中区〇〇4-5-6		
住宅の借主	●本人 共同名義人が●いない ○扶養親族 続柄() ○いる 続柄()					
家賃等	月額 50,000 円(令和6年 4月 1日)から					
	上記家賃等には <input type="checkbox"/> 電気、ガス又は水道の料金が含まれている。(光熱費込みの下宿代) <input type="checkbox"/> 食費等が含まれている。(まかない付下宿代) <input type="checkbox"/> 共益費が含まれている。 <input checked="" type="checkbox"/> 駐車場料金が含まれている。					
確認及び決定欄(提出者は記入しないこと。)			届出受理年月日	年 月 日		
本人・留守家族の区分			支 給	支 給 該 当 区 分		
本人(留守家族支給 ○あり ○なし)				借 家	○	
留守家族(本人支給 ○あり ○なし)				借 間	○	
				ま か な い 付 下 宿	○	
			非 支 給 ○			
決 定 家 賃 額	支 給 の 始 期 等	住居手当の額	備 考 (算出の基礎等)	決 裁 欄	決 裁 年 月 日	
(規則第7条適用の場合の算式等)	年 月分から 年 月分まで 支給	円			年 月 日	
	年 月分から 年 月分まで 支給	円			年 月 日	
	年 月分から 年 月分まで 支給	円			年 月 日	
	年 月分から 年 月分まで 支給	円			年 月 日	